

エアークンプレッサー専用 / ドレン油水分離装置 特許取得済

ドレンデストロイヤー®

ドレンの処理はフクハラにお任せください。

世界一の設計思想から誕生！

無電源・低コスト・低ランニング・簡単メンテナンス・産廃処理不要

科学技術庁特許官署
中小企業庁長官奨励賞
受賞商品

↓特長

1. 水質汚濁防止法の排水基準5ppm以下をクリア。大きな処理量と安価な処理費
2. 大きな清水確認槽付
処理水の清水確認が容易にできます。
3. すべての機種にドレン分離槽を装備。
フィルター槽の寿命延長、ランニングコスト低減。
4. 貴社での産廃処理不要・リユース、エコサイクル、サーマルリサイクル

処理前

処理後

コンプレッサードレン (エマルジョン) (n-ヘキサン値 5ppm 以下)

XSD25
適用コンプレッサー 25kW以下

処理装置を導入後、エマルジョンを処理しきれずにお困りのユーザー様、ご相談ください。

フクハラのドレン処理装置はすべての機種にドレン分離槽を装備。フィルター槽の長寿命化、ランニングコスト低減。3.7円/L (125ppm時)

発売以来31年、豊富なノウハウがあります。
産廃経費節減 適用コンプレッサー 7.5kW以下〜1100kW全19種ラインナップ

スーパーサイクロンセパレーター

圧縮空気用“竜巻遠心”気水分離器

冷凍式エアードライヤーの前後に設置すると電力費削減※

端末に水はほとんど出ません！

エアークンプレッサー

冷凍式エアードライヤー

フィルター

圧縮空気

ドレントラップ 設置例

- 圧縮空気の水分の分離性98%以上！！
- 圧力降下0.5kPa以下！！
- 流量1〜46m³/min、口径3/8〜3インチ、全11機種で広いレンジに対応！！

冷凍式エアードライヤーのドレントラップは、ドレン排出不能になることがよくあり、ドレンがあふれ、ドライヤー出口配管に流れ出します。その場合、ドライヤー後のサイクロンセパレーターが機能を発揮し、フィルターへの負荷を低減します。

※削減額の詳細な計算式については、弊社ホームページをご覧ください。

■全国納入・稼働実績多数

ISO14001 認証取得済
平成21年度 神奈川県優良工場認定

感動をもたらす
省エネ・環境関連機器をデザインする

本社・工場 〒246-0025 横浜市瀬谷区阿久和1-15-5
TEL 045(363)7373 FAX 045(363)6275
URL: <http://www.fukuhara-net.co.jp/>
E-mail: eigyo@fukuhara-net.co.jp

検索サイトからは
フクハラ ドレン 検索

FK 株式会社 フクハラ

広がる連携の動き

地域密着で成果

企業の研究機関が多く立地する神奈川県において、大学と企業は技術開発や人材育成などで連携を深めてきた。現在、連携の動きは大手企業に限らず、地元の中小企業や地域住民といった地域密着型の活動まで広がりをみせつつある。また、大学側は学生に主導権を持たせることで、講義中心の教育だけでなく、より実践的なモノづくり力力の向上に力を入れている。少子高齢化や大学生の就職率低迷など、大学が抱える課題は多い。神奈川の大学は地域社会への貢献と世界に通じる人材育成で存在感を高める。

全国に10キャンパス・23学部を抱える東海大学。学生の「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」の養成を目的に、2006年にチャレンジャーセンターを設立した。南アフリカとオーストラリアで隔年ごとに開催されるソーラーカーレースで08年から5連覇中のチャレンジャー

チームだ。今は10月のオーストラリア大会に向けて急ピッチで車両開発が進む。今年もパナソニック製の太陽電池とリチウムイオン電池、東レの炭素繊維など日本を代表する企業の技術が結集した。

東海大学のソーラーカーチーム（中央が木村英樹教授）

東海大学は地域社会への貢献に力を入れている大学の一つだ。今年度から県内の中小企業を対象にリチウムイオン二次電池（LIB）のオープンラボを新設したほか、工学部機械工学科を中心に学科単位で産学連携を推進。研究で培った豊富な知識や実験設備を積極的に開放しており、長年にわたって神奈川県発展に貢献している。

東海大学のソーラーカーチーム（中央が木村英樹教授）

東海大学は地域社会への貢献に力を入れている大学の一つだ。今年度から県内の中小企業を対象にリチウムイオン二次電池（LIB）のオープンラボを新設したほか、工学部機械工学科を中心に学科単位で産学連携を推進。研究で培った豊富な知識や実験設備を積極的に開放しており、長年にわたって神奈川県発展に貢献している。

神奈川大学

神奈川大学は地域社会への貢献に力を入れている大学の一つだ。今年度から県内の中小企業を対象にリチウムイオン二次電池（LIB）のオープンラボを新設したほか、工学部機械工学科を中心に学科単位で産学連携を推進。研究で培った豊富な知識や実験設備を積極的に開放しており、長年にわたって神奈川県発展に貢献している。

なかには地域住民レベルの活動までつながったプロジェクトも少なくない。その一つが工学部建築学科の住本孝久教授の手がける「揺れやすさマップ」だ。どの地域がどれくらい地震の影響を受けるかを可視化したもので、文部科学省が支援する「学術フロントティア推進事業」の一環として構築計画研究所などの企業と連携して取り組んでいる。

住本教授が作成した揺れやすさマップの最大の特徴は地域性の高さだ。全国マップは内閣府が統一した作

住本教授の研究に興味を持った住民が「防災塾・だるま」を設立

チャレンジセンター

ソーラーカーで実践学習

厚木市に位置する神奈川工科大学では、再生可能エネルギーに関する研究で成果があった。板子一隆教授は、太陽電池の一部のセルが太陽光の影になることで温度が上昇してしまふ「ホットスポット」現象について、同現象を起こす可能性の高いセルをパネル出荷前の段階で特定する技術を開発した。太陽電池メーカーが出荷検査を素早くできるようなるほか、太陽電池を仕入れて一体のシステムとして販売する企業が、電池の受け入れ検査で活用すること

厚木市に位置する神奈川工科大学では、再生可能エネルギーに関する研究で成果があった。板子一隆教授は、太陽電池の一部のセルが太陽光の影になることで温度が上昇してしまふ「ホットスポット」現象について、同現象を起こす可能性の高いセルをパネル出荷前の段階で特定する技術を開発した。太陽電池メーカーが出荷検査を素早くできるようなるほか、太陽電池を仕入れて一体のシステムとして販売する企業が、電池の受け入れ検査で活用すること

地域プロジェクト

「揺れやすさマップ」活用

揺れやすさを事業所単位で把握できるようにした。地図は表面地盤が固い場所を基準にして、地盤の揺れる速度が基準よりも1.2倍以上なら青、2.4倍以上なら赤といったように増幅率を色分けしており、住民は一目で自宅近くの状況を把握できるという。

さらに、住本教授は揺れの揺れやすさを事業所単位で把握できるようにした。地図は表面地盤が固い場所を基準にして、地盤の揺れる速度が基準よりも1.2倍以上なら青、2.4倍以上なら赤といったように増幅率を色分けしており、住民は一目で自宅近くの状況を把握できるという。

神奈川工科大学

太陽電池の研究

出荷検査で実用化

厚木市に位置する神奈川工科大学では、再生可能エネルギーに関する研究で成果があった。板子一隆教授は、太陽電池の一部のセルが太陽光の影になることで温度が上昇してしまふ「ホットスポット」現象について、同現象を起こす可能性の高いセルをパネル出荷前の段階で特定する技術を開発した。太陽電池メーカーが出荷検査を素早くできるようなるほか、太陽電池を仕入れて一体のシステムとして販売する企業が、電池の受け入れ検査で活用すること

厚木市に位置する神奈川工科大学では、再生可能エネルギーに関する研究で成果があった。板子一隆教授は、太陽電池の一部のセルが太陽光の影になることで温度が上昇してしまふ「ホットスポット」現象について、同現象を起こす可能性の高いセルをパネル出荷前の段階で特定する技術を開発した。太陽電池メーカーが出荷検査を素早くできるようなるほか、太陽電池を仕入れて一体のシステムとして販売する企業が、電池の受け入れ検査で活用すること

7 神奈川の大学

大学の技術・研究をもっと社会に

研究事例

ライフサイエンス

- 医農薬リードの探索・開発
- 細胞チップの開発に役立つ光制御表面修飾剤
- 感光性シランカップリング剤を用いたケージド細胞培養基板

情報通信

- 情報力カプセルエージェントによる著作権と個人情報の管理
- インタラクティブ電子黒板システム



神奈川大学 産官学連携事業

産業界・官公庁のインターフェイス

リエゾン・技術移転活動

企業ニーズと大学のシーズを繋ぐコーディネート活動とあわせて、大学が所有する知的財産の活用のため、技術移転を推進しております。

特許出願、維持、管理活動

研究成果から生まれる発明の発掘から始まり、特許出願、特許管理に至るまで、技術移転に繋がる情報をデータベース化しております。

産学連携組織との連携

近隣の大学、公的セクターの産学連携組織と協力し合い、展示会への出展、企業情報の共有、ニーズとシーズのマッチング促進などを行っております。

大学発ベンチャーの支援

学内から生まれた研究成果である三相乳化工術の製品化と事業化を担う大学発ベンチャー「未来環境テクノロジー株式会社」の運営をサポートしております。

研究受入のサポート

受託研究、共同研究の受入、研究を進めてゆく上で必要となる契約など各種事務手続きを研究者に代わって行っております。

環境

- 環境配慮型生産システムの構築と運用
- 高性能センサレス電気自動車
- 高度機能分子・生物ホトニクス基盤技術

ナノテクノロジー・素材

- オキシセタン化合物ハイパーブリッチ高分子
- 水素を常温常圧で吸蔵する球状シリカ粒子

製造技術

- 衝突緩和機能を持つ人間共存型ロボットの開発
- 線形系および非線形系システムの振動音響モデリング

社会基盤

- 人間工学的アプローチによる交通事故防止システム
- 高耐震性能の制振動・免震デバイスによる損傷制御設計構造
- 災害時リアルタイム水運用システム
- 防災まちづくり支援ツールの構築

横 浜 キャンパス

大学 法学部 / 法律学科・自治行政学科
経済学部 / 経済学科・現代ビジネス学科
外国語学部 / 英語英文学科・スペイン語学科
中国語学科・国際文化交流学科

大学院 法学研究科・経済学研究科
外国語学研究所・人間科学研究科
工学研究科・歴史民俗資料科学研究科
法務研究科（法科大学院）

湘南ひらつか キャンパス

大学 経営学部 / 国際経営学科
理学部 / 数理・物理学科
情報科学科
化学科・生物科学科
総合学プログラム

大学院 経営学研究科
理学研究科

sankangaku-web@kanagawa-u.ac.jp
<http://www.kanagawa-u.ac.jp>

KU 学校法人 神奈川大学

研究支援部 産官学連携推進課
横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL.045-481-5661(代)